

## 終身之計、莫如樹人

4月16日、政府により「緊急事態宣言」が全都道府県に拡大して発令されました。新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく宣言です。7日の発令で対象地域とされていた7都府県だけでなく、群馬県も含む全ての都道府県が対象地域となりました。

県内の感染者数も増加しています。感染経路不明という場合も増えていますので、感染症予防対策を一人一人がこれまで以上に徹底していきましょう。

ところで、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、私たちの身のまわりでは、マスクや消毒用のアルコールなどが手に入りにくい状態になっています。こうしたことは、医療現場でも深刻なようです。報道によれば、医療用のマスク、ガウン、フェイスシールド、人工呼吸器など、医療物資の不足が懸念されているとのことでした。このため、政府は企業などに対して増産の要請などを行い、多くの企業がこうしたことに協力するため、すでに取り組み始めたとのことでした。マスクや人工呼吸器などを増産し始めたという企業だけでなく、これまでそうした製品を生産してこなかった企業が新たに開始したという例なども報じられました。

医療物資の供給不足が一日も早く解消されるのを願うばかりですが、これらを扱う医師や看護師などの医療従事者の数は、短時間で増やすことはできません。資金や資材をつぎ込めばモノはスピーディーに増やせますが、人材を一朝一夕に育てることはできないのです。中国の春秋時代から漢代までの間に成立したとされている『管子』の中に、次のような言葉があります。「一年の計画において作物を植えるに及ぶことはなく、十年の計画において木を植えるに及ぶことはなく、一生の計画において人を育てるに及ぶことはない。」というものです。一年先を考えるならば種を蒔きなさい、十年先を考えるならば木を植えなさい、百年先を考えるな

らば人を育てなさい、ということです。

私たちの人生においては、短期的な計画もあれば、長期的な計画もあります。どのような計画を立てるにしても、その計画に要する期間、また、それぞれの価値や重要性について、しっかり考えることは、現代においても極めて大切なことだと思います。すぐに短い期間で達成させなければならないこともあれば、時間をかけて粘り強く成し遂げなければならないこともあるのです。いずれにしても大きなことを成し遂げるにはある程度の時間が必要ですし、何より人を育てることは、長期的に見たときには、何よりも重要なことであると思います。

今、国難ともいえるこの状況の中で学校が休校となり、皆さんは家庭学習に取り組みねばなりません。自分から学ばねば先へ進まないという、能動的な生活を強いられることになりました。厳しい状況下ですが、前向きに受け止めてみることもできるはずです。ぜひとも、漫然と怠惰な時間を過ごすのではなく、この与えられた時間を有効に使って取り組んでください。未来へ続く皆さんの人生や我が国の将来を見据えたときに、皆さんには次の時代を担う人材となっていくための覚悟を持って、しっかり学習に取り組んでほしいと願っています。感染症防止対策を行いながらの毎日ですが、皆さんの一日一日が、皆さん自身を成長させていきますので、希望を持って過ごしてほしいと思うのです。

ただし、あせりは禁物です。家庭学習では、じっくりと自分の理解の程度に応じながら取り組むことができるはずです。例えば、スタディサプリの講義動画等を利用すれば、基礎からの学び直しが可能です。かなり前の学習内容にまでさかのぼることができます。土台、基礎をしっかり固めることができます。授業が再開した時に備え、基礎を固めながら、課題に取り組んでください。